



## マイルストーン開示に係る事業計画の修正について (平成 21 年 12 月期～平成 23 年 12 月期)

平成 22 年 2 月 12 日

上場会社名 テラ株式会社

(コード番号: 2191 NEO)

(URL <http://www.tella.jp/>)

問合せ先 代表取締役社長 矢崎 雄一郎  
取締役管理本部長 山本 龍平

TEL: (03) 6272-6477

平成 21 年 3 月 26 日に公表いたしました「マイルストーン開示に係る事業計画について」の内容につき、平成 21 年 12 月期において通期業績予想の修正を行ったため、事業計画を下記のとおり修正いたします。

### 1. 今後の事業計画 (平成 21 年 12 月期～平成 23 年 12 月期)

#### 【修正前】

(単位: 百万円)

|                   | 売上高   | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 |
|-------------------|-------|------|------|-------|
| 平成 21 年 12 月期(計画) | 904   | 188  | 151  | 85    |
| 平成 22 年 12 月期(目標) | 1,280 | 301  | 301  | 173   |
| 平成 23 年 12 月期(目標) | 1,674 | 555  | 555  | 324   |

#### 【修正後】

(単位: 百万円)

|                   | 売上高   | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 |
|-------------------|-------|------|------|-------|
| 平成 21 年 12 月期(計画) | 974   | 233  | 197  | 109   |
| 平成 22 年 12 月期(目標) | 1,428 | 314  | 301  | 173   |
| 平成 23 年 12 月期(目標) | 1,764 | 570  | 557  | 324   |

(注) 平成 21 年 12 月期については、実績値を記載しております。平成 22 年 12 月期以降については、市場環境や企業規模の拡大、契約医療機関の順調な増加等の見通しを加味した目標値を記載しております。

### 2. 各事業年度における修正理由 (平成 21 年 12 月期～平成 23 年 12 月期)

#### ①平成 21 年 12 月期

売上高につきましては、平成 21 年 12 月期のマイルストーン開示に係る事業計画の開拓計画につき、当社の認知度向上により営業開拓活動が効果的に展開できたこと、および新規契約医療機関での治療開始が計画に対して早まったこと、さらに各種メディアや Web サイトを通じた患者向けの情報提供活動を積極的に行った結果、契約医療機関での治療数が増加したこと等から、前回開示した事業計画に比べ 70 百万円上回る 974 百万円 (通期計画対する進捗率 107.8%) となる見込みです。

営業利益につきましては、売上が増加したこと、各種メディアへの露出の増加に伴い、患者に対す

る情報提供活動が効率良く展開することが可能となり、広告宣伝費等の圧縮を図ったこと等により、前回開示した事業計画に比べ 44 百万円上回る 233 百万円（通期計画に対する進捗率 123.6%）となる見込みです。

経常利益および当期純利益につきましては、営業利益の増加により経常利益は、前回開示した事業計画に比べ 45 百万円上回る 197 百万円（通期計画に対する進捗率 130.2%）となり、当期純利益は、23 百万円上回る 109 百万円（通期計画に対する進捗率 127.9%）となる見込みです。

## ②平成 22 年 12 月期

売上高は、前回開示した目標 1,280 百万円から計画 1,428 百万円と 148 百万円増を計画しております。この増加の要因は、医療機関に対して樹状細胞ワクチン療法に係る科学的なエビデンスや症例実績等の情報提供による営業開拓活動を行うことにより、前回開示した契約医療機関の開拓目標（当初計画 1ヶ所）を合計 3ヶ所に増加する見込みであること、さらに平成 21 年 12 月期に治療を開始した契約医療機関が順調に治療数を増加すると予想されること等に基づき、既存の契約医療機関と新規の契約医療機関の売上予測を積み上げた結果によるものです。

利益につきましても、契約医療機関増加に伴う減価償却費の負担増加および今後の契約医療機関増加に対応するための組織や人員体制の見直しによる費用の負担増加等が予想されることから、前回開示した事業計画に比べ、目標営業利益 301 百万円から計画営業利益 314 百万円と 12 百万円の増加を想定するものの、当期純利益に関しては目標当期純利益 173 百万円から計画当期純利益 173 百万円と前回開示の目標とほぼ同程度になることを想定しています。

## ③平成 23 年 12 月期

市場環境や企業規模の拡大予測や、前年に引き続き医療機関に対する営業開拓活動を行い、前回開示した契約医療機関の開拓目標（当初計画 4ヶ所）を合計 3ヶ所と計画しております。なお当初事業計画より 1ヶ所減少しますが、平成 22 年 12 月期において契約医療機関の開拓目標を前倒しにて計画しており、前年に契約した医療機関の本格稼働が見込めること等を加味し、売上高は、前回開示した目標 1,674 百万円から目標 1,764 百万円と 89 百万円増を目標としております。また、営業利益につきましては、前回開示した目標営業利益 555 百万円から目標営業利益 570 百万円と 14 百万円増加するものの、平成 22 年 12 月期と同様に費用の見直しを行った結果、当期純利益に関しては目標当期純利益 324 百万円と、前回開示の目標とほぼ同程度になることを想定しています。

## 3. マイルストーン開示に係る事業計画達成のための基本方針

本日公表の「マイルストーン開示に係る事業計画について（平成 22 年 12 月期～平成 24 年 12 月期）」をご参照ください。

以 上

本開示資料は、投資者に対する情報提供を目的として将来の事業計画等を記載したものであって、投資勧誘を目的としたものではありません。当社の事業計画に対する評価及び投資に関する決定は投資者ご自身の判断において行われるようお願いいたします。

また、当社は、事業計画に関する業績目標その他の事項の実現・達成等に関しその蓋然性を如何なる意味においても保証するものではなく、その実現・達成等に関して一切責任を負うものではありません。

本開示資料に記載されている将来に係わる一切の記述内容（事業計画に関する業績目標も含まれますがそれに限られません。）は、現時点で入手可能な情報から得られた当社の判断に基づくものであり、将来の経済環境の変化等を含む事業計画の前提条件に変動が生じた場合その他様々な要因の変化により、実際の事業の状態・業績等は影響を受けることが予想され、本開示資料の記載内容と大きく異なる可能性があります。